

西新宿エリアにおける自動運転移動サービス実現に関するプロジェクトに参画します

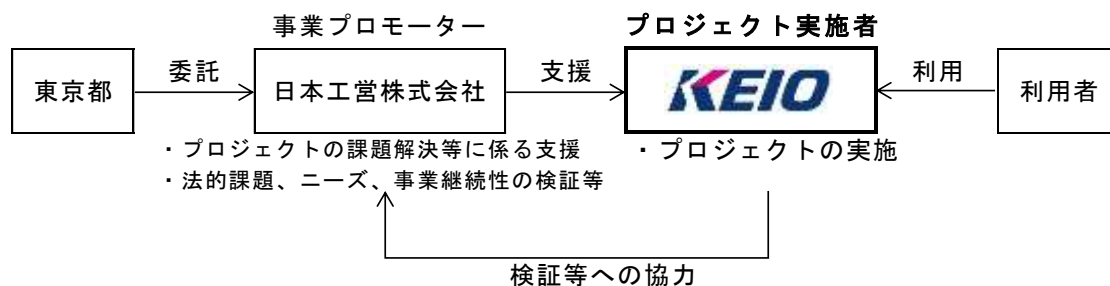
京王電鉄バス株式会社（本社：東京都府中市、代表取締役社長 丸山 荘、以下「京王電鉄バス」）は、東京都が公募した「令和3年度西新宿エリアにおける自動運転移動サービス実現に向けた5Gを活用したサービスモデルの構築に関するプロジェクト」のプロジェクト実施者として採択され、西新宿エリアにおいて路線バスを用いた自動運転の実証実験を行います。

東京都では、「未来の東京」戦略において、2025年の無人自動運転による移動サービスの実現を政策目標として掲げているとともに、「スマート東京実施戦略」においても、自動運転の実用化により、都の課題解決を目指しています。このプロジェクトは、高い輸送ニーズを有し、「スマート東京先行実施エリア」として先行的に5Gを整備している西新宿エリアにおいて、自動運転での移動サービスや輸送サービスの実証、法的課題や事業継続性の検証を行い、西新宿や都内の他エリアでの早期事業化を目指しています。

当社では、本実証実験において、トンネルや半地下、高層ビル群など自動運転での走行には過酷な環境下で、5Gの活用、新たなシステム開発等による自動運転の実証運行を行うことで、本格化に向けた技術面・運用面での検証を図るとともに、今後の「少子高齢化・コロナ禍での生活様式の変容によるお客様の減少」や「乗務員不足」、「輸送サービスの多様化」等のバス事業が抱える諸課題の解決に向けた検討をすすめてまいります。

1. プロジェクトの全体概要

東京都の委託を受けた事業プロモーターである日本工営株式会社が実施するプロジェクト実施者の募集において、京王電鉄バスが実施者のひとつとして選定されました。



2. 実施するプロジェクトの概要

(1) テーマ

「都心部特有の自動走行困難な営業ルートでの自動運転バス運行実証」

(2) 実施者

京王電鉄バス

京王バス株式会社 / 京王電鉄株式会社 / 株式会社京王エージェンシー /

日本モビリティ株式会社 / ソフトバンク株式会社 /

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 / MS&AD インターリスク総研株式会社 ほか

(3) 主な実施概要

- ・車外カメラ画像やセンサー情報を 5G の大容量通信で送信し、遠隔監視に活用
- ・顔認証情報を 5G の低遅延通信で送受信し、将来の運賃收受サービスの検証等に活用
- ・アプリを活用して自動運転バスの位置情報や車内混雑情報をリアルタイムで提供

(4) 実験車両概要

- ・日野ポンチョロング 2 ドアをベースとした自動運転バス
- ・従来の自動走行機能（GNSS や LiDAR のスキャンマッチング機能）に加え、LiDAR の白線・縁石認識機能を高度化

(5) 実施予定時期

令和3年11月から令和4年1月までの2～3週間程度

(6) 実施予定箇所

- ・新宿駅西口 ～ 都庁 ～ 都議会議事堂 ～ 新宿駅西口



<新宿駅西口>



<都庁第一本庁舎>

※写真はイメージであり、実際に使用する車両とは異なります。

3. その他

「西新宿エリアにおける自動運転移動サービス実現に向けた 5G を活用したサービスモデル構築に関するプロジェクト」に関する情報

東京都 https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/news/2021/202107_004.html

日本工営株式会社 特設HP <https://autonomouscar-tokyo.jp/>

< 本件に関する問い合わせ先 >

京王電鉄バス株式会社 運輸営業部 乗合事業担当 電話：042-352-3713

以 上